

よむよむ

神川町立青柳小学校
令和4年6月20日
図書室便りNo.3



4・5月の貸出冊数発表！



6月の図書委員会でクラス平均貸出冊数調べを行いました。

結果は、次の通りです。

1 位	2 位	3 位
2 年生	4 年生	5 年生
13 冊	13 冊	10 冊

各学年頑張って読書をしています。その中でも、読書カード
が3枚目になっている人も多くいます。まだ1枚目の人は、
6月中に2枚目にいくよう頑張ってください。



読書月間ではお世話になりました

読書月間中には今まで以上に、図書室の本を子供たちはよく借りに来ていました。たくさんの児童がこの期間に10冊を達成し、しおりを嬉しそうにもらっていました。この期間に読書の習慣がついたと思いますので、引き続き「神川町読書ピクニック」の取組への声掛けもお願い致します。少しずつ、「シールをもらいに行ったよ。」との報告を受けています。



とくしょしゅうかん 読書習慣が み っ ほうほう 身に付く方法①



1. 本が苦手な小学生に読書習慣を身に付けさせるコツ

読書習慣がない子どもは、文字をスムーズに読むことができず、本を楽しんだ経験がありません。読書よりもゲームや外遊びの方が楽しいと感じ、読書をする機会から遠ざかっている状態です。

まずは、子どもに本を読む楽しさを体験してもらうため、**多様なジャンルの本**を自由に選べるように揃えます。絵本、地図、歴史、科学、小説、雑誌、漫画まで揃え、興味のある本に手を伸ばして読むようになるでしょう。

子どもが自発的に本を読んで楽しいと感じると、新しいジャンルの本も気になり、読書習慣が身に付きます。読書習慣がない子どもには物語や小説の他にも、漫画やコミックも本として認めても問題ありません。大人から「この本を読みなさい」と押し付けるのではなく、**子どもが読みたい本を選ばせることが大切です。**

文章を読む習慣がない子どもが一人で読書習慣を身に付けることは、簡単なことではありません。まずは、興味を持った本を集中して読める環境を作ってサポートしてあげましょう。

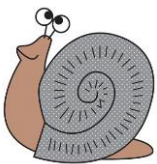
2. 親子で同じ本を読んで感想を話し合う

子どもは読書の他にも、テレビやゲーム、スマホで YouTube を見るのも興味を持っています。読書習慣が身につけていても、なかなか継続しないというお子さんも多いでしょう。そこで、子どもが読んだ本を親も読んで、**親子で読んで、親子で感想を話し合う方法**を試してみると良いです。

まずは、子どもの好きな本を親子で読んで、ストーリーや感想を共有してみましょう。

本をよく読む親の子どもは本に興味を持ちやすく、自然と読書習慣が身に付くことが分かりました。子どもも前で親が読書をするように努めてお手本になれば、子どもにとって読書は特別なことだと思わずに習慣化されるのです。

参考：shinko-keirin.co.jp (新興出版社 HP)



お家でも親子読書をすすめていただいていると思います。子供たちが本にふれる機会を増やしてもらい、本の楽しさをぜひ味あわせてあげてください。よろしくお願いします。